

ク ラ フ ト

クラフト名	実施可能期間	所要時間	料金	対象学年	活動場所
焼き板	4～11月	2時間	材料代 1人 350円 アクリル絵の具 1箱 850円	小学生 以上	クラフトピロティ または クラフト室 * 車庫の場合 もあり
記念バッジ ストラップ	年間を通じて	1時間30分			
山からの 便り	年間を通じて	1～2時間	材料代 1人 350円 アクリル絵の具 1箱 850円 * 切手代は別途必要		
バード コール	年間を通じて	1時間30分	材料代 1人 240円		
ネイチャー クラフト	年間を通じて	2時間	材料代 1人 300円		
小枝 de ネイチャー クラフト	年間を通じて	2時間	材料代 1人 300円		
マイ箸作り	年間を通じて	1時間30分	材料代 1人 350円		
my スプーン my フォーク 作り	年間を通じて	1時間30分	材料代 1本 150円		
※こま	年間を通じて	2時間	材料代 1人 60円	小学4年生 以上	
※紙かご	年間を通じて	3時間	材料代 1人 60円		
※竹とんぼ	4～11月	2～3時間	材料代 1人 190円		

◆アクリル絵の具の必要数 … 2班（1班6人）で1箱が目途

◆ネイチャークラフトの所要時間 … 材料集めの時間を除く

※こま、紙かご、竹とんぼは在庫がなくなり次第終了します。

焼き板

自然の材料（杉板）を使って絵を描いたり字を書いたりして思い出の記念品を作る。
木のもつ温かさに触れることができる。

所で準備する物

焼き板用材（白木材）、動眼、ひも、タワシ、新聞紙、ボンド、はさみ、図画用品一式（筆、パレット、筆洗い、スポンジ）、マジック、ガスボンベ、バーナー、石膏ボード、穴開けドリル

団体準備物

【団体】サララップ、アクリル絵の具（12人程度で1箱が目安。所で注文可：有料）

【個人】軍手、マスク、古タオル ※汚れてもよい服装

実施要領

- ①指導者が板を焼く。（バーナー使用）
- ②焼いた板から自分の好きな板を選ぶ。
- ③板の目に沿ってたわしでこすり、炭をおとす。
- ④古タオルでみがき、板の表面にツヤを出す。
- ⑤ドリル（指導者が使用）でひもを通す穴をあける。
- ⑥絵や字を工夫して描く。
- ⑦ひもをつける。
- ⑧乾かす。
- ⑨後片付けとそうじをする。



※活動班は6人を基本とする。

記念バッジ・ストラップ

自然の材料を使ってバッジ・ストラップを作り、思い出のオリジナル作品を作る。
木が持っている美しさに触れることができる。

所で準備する物

バッジ用材（木を輪切りしたもの）、名札用クリップ（記念バッジ）、ひも（ストラップ）、動眼、新聞紙、ボンド、図画用品一式（筆、パレット、筆洗い、スポンジ）、サインペン、紙ヤスリ

団体準備物

サララップ、アクリル絵の具（12人程度で1箱が目安。所で注文可：有料）、ポスカ、マジック

実施要領

- ①バッジ用材から自分の好きな板材を選ぶ。
- ②紙ヤスリで木の裏表をみがく。
- ③木の表面に絵（名前）をかく。
〈記念バッジ〉
- ④木の裏面に名札用クリップをボンドで付ける。
- ⑤後片付けとそうじをする。
〈ストラップ〉
- ④木にドリル（指導者が使用）で穴をあける。
- ⑤好きな色のひもを通しむすぶ。
- ⑥後片付けとそうじをする。



※申請書類には「バッジ」か「ストラップ」どちらか希望する方をお書きください。

※活動班は6人を基本とする。

山からの便り

遠く離れている家族に、木につづられた山からの温かい便りを届ける。
木の温もりを感じることができる。

所で準備する物

山からの便り用材、図画用品一式（筆、パレット、筆洗い、スポンジ）、サインペン、紙ヤスリ

団体準備物

切手 210 円、サランラップ、アクリル絵の具
(12人程度で1箱が目安 所で注文可：有料)、ポスカ、マジック

実施要領

- ①山からの便り用材から自分の好きな板材を選ぶ。
- ②紙ヤスリで板材の裏表をみがく。
- ③板の表にサインペンで宛名と宛先を書く。
※切手が貼れるスペースをあけておく。
- ④板の裏面に、アクリル絵の具やサインペンを使い、イラストや近況をかく。
- ⑤十分乾かして切手を貼り発送する。
- ⑥後片付けとそうじをする。

※活動班は6人を基本とする。



バードコール

枝を使って、小鳥の鳴き声そっくりな音を出す器具を作る。
野鳥と交信をする楽しさを味わうことができる。

所で準備する物

バードコール用材、蝶ネジ、ひも、動眼、小枝、穴あけドリル、小刀、工作用土台、ボンド、はさみ、ノコギリ

団体準備物

軍手

実施要領

- ①バードコール用材から、自分の好きな枝材を選ぶ。
 - ②用材を、自分で好きな長さのにこぎりで切る。
※切らなくてもよい。
 - ③先端の中央に、ドリル(指導者が使用)で蝶ネジが入る穴をあける。
 - ④蝶ネジを何回もねじ込む。
 - ⑤ネジを回してチュッチュッと音がしたら完成。
 - ⑥ひも用の穴をあけてひもを通し首からかけるようにしたり、小刀で木肌を少し削り、文字を書けるようにしたりするなど工夫する。
 - ⑦後片付けとそうじをする。
- ※野鳥と交信したり、お互いに鳴らしあったりして楽しむ時間を持つとよい。



ネイチャークラフト

自然の中から材料を集めて、記念のオブジェや壁掛けなどを作る。
自然物から形を造ることを通して、創造性を養うことができる。

所で準備する物

ネイチャークラフト用材（1人1枚）、動眼、ボンド、ホットボンド、小刀、工作用土台、はさみ、マジック、ノコギリ、紙ヤスリ

団体準備物

作品を持ち帰るための袋、軍手

実施要領

- ① 野外に出てクラフトの材料を集めてくる。
（例 木の実、草、木の枝やつる、石など）
- ② 板や竹を使う場合は、紙やすりで角を落としておく。
- ③ 材料を自由に切ったり曲げたりくっつけたりして作品に仕上げる。
- ④ 後片付けとそうじをする。
* 残った材料は自然にもどす。



NEW こえだ 小枝 de ネイチャークラフト

自然の中から材料を集めて、壁掛けやモビールなどを作る。
自然物から形を造ることを通して、創造性を養うことができる。

所で準備する物

枝1本 タコ糸、ヒートン（5個）、動眼（2個）
ボンド、ホットボンド、小刀、キリ、はさみ、ノコギリ

団体準備物

小枝や木の実（所からも提供可）軍手
マジック、ボスカ、アクリルカラー等

実施要領

- ① 野外に出てクラフトの材料を集めてくる。
（例 木の実、草、小枝やつるなど）
- ② 材料を自由に切ったり曲げたりくっつけたりして作品に仕上げる。
- ③ 後片付けとそうじをする。
* 残った材料は自然にもどす。



マイ箸作り

貝や卵の殻を埋め込んだ箸（はし）をサンドペーパーで研ぎ、美しい模様を研ぎ出す。
自分の好みに合った模様の箸をていねいに作り出すことができる。

所で準備する物 塗箸、紙ヤスリ、新聞紙

団体準備物 タオル（班ごと もしくは 全員分）

実施要領

- ①塗り箸を選ぶ。
- ②アワビの貝のある面を紙やすりで磨く。
貝が見えるところまでやめる。
反対の面も磨く。
- ③卵の殻だけある面を、少し弱めにみがく。
反対の面も磨く。
* ②と③どちらからでもよい。



- ④頭と先端の部分は磨かない。
先の方（細い方）には、貝も殻もちりばめられていないので磨かなくてよい。
- ⑤角の部分は、なでるように軽く磨き仕上げる。
- ⑥後片付けとそうじをする。

NEW my スプーン・my フォークづくり

木の枝を使って、世界に1つだけのオリジナルスプーンやフォークを作る。
素材を生かした制作を通して、自然物の良さや温もりを感じることができる。
完成したスプーンやフォークで味わうカレーも、またおいしいですよ。

所で準備する物 柄にする枝、スプーン・フォークの先、紙ヤスリ、小刀、穴あけドリル、のこぎり

団体準備物 軍手、ポスカ、マジック、彫刻刀（三角刀）

実施要項

- ①スプーン（フォーク）の柄にする枝を選ぶ。
- ②使いやすい長さ（10 cm～15 cmぐらい）に、のこぎりで切る。
- ③切断した面を紙やすりでみがいてなめらかにする。
- ④スプーン（フォーク）を入れるための穴をドリルであける。
- ⑤スプーン（フォーク）の先端を穴に差し込む。
- ⑥枝を削って色をつけたり、名前を彫ったりする。
- ⑦後片付けとそうじをする。



【留意点】

- 作ったスプーン（フォーク）を野外炊さんで使用する場合は、事前に煮沸をしてください。
※煮沸用の鍋はお貸しします。薪は野外炊さんの物とは別に1束注文してください。
※鍋は洗って戻してください。

こま

紙バンドを使って、こまを手作りする。
置物として部屋に飾ったり、友だちと競い合いをして楽しんだりすることができる。

所で準備する物 紙バンド（1人6m）、芯棒、小刀、工作用土台、セロテープ、洗濯ばさみ、はさみ、ボンド、ホットボンド

団体準備物 なし

実施要領

- ① 芯棒と紙バンドを用意する。
- ② 芯棒につける部分の紙バンドを少し削り、巻きやすいようにする。
- ③ 芯棒につける部分の紙バンドに接着剤をぬり、芯棒に固定する。
※接着剤が固まるまで、洗濯ばさみではさんでおくとよい。
- ④ 芯棒に紙バンドが固定されたら少しずつ上にずらして巻いていく。
- ⑤ 巻き終わったら、端をセロテープで固定する。
- ⑥ 重心を下げるために平たくする。（M字形にしてもよい）
- ⑦ 平らになったら紙バンドの端の部分に接着剤をぬり、再度しっかり固定する。
- ⑧ 水の中にサッと入れて乾燥させる。
※長く浸けすぎるとのりが落ちるので注意する。
- ⑨ 乾燥したら完成。
- ⑩ 後片付けとそうじをする。



紙かご

紙バンドを使って、かごを手づくりする。粘り強さや計画性を育むことができる。
小物入れなどに利用して生活に役立てることができる。

所で準備する物 紙バンド（1人6m）、ものさし、はさみ、洗濯ばさみ、ホットボンド

団体準備物 なし

実施要領

- ① 紙バンドを切る。（40cm×10本・50cm×4本）
- ② 底の部分を編み、要所を接着剤で留める。
- ③ 側面になる部分を折って立ち上げる。
- ④ 側面を下段から編み込み、1面をつくる。
- ⑤ 横ひもを下段に押しつけながら、上辺で縦ひもを折り返す。
※ほどけないように洗濯ばさみで留めておく。
- ⑥ 横ひもを折って、次の面も同様に編む。
- ⑦ 横ひもの端は、外から見えないように重ねて編み込む。
※余分なバンドは切り取る。
- ⑧ さっと水につけて乾燥させる。
- ⑨ 乾燥したら完成。
- ⑩ 後片付けとそうじをする。



出来上がりサイズ：約10cm四方×高さ7cm

竹 と ん ぼ

竹材を小刀で削って、竹とんぼを手作りする。
友だちと飛距離を競い合うなどして楽しむことができる。

所で準備する物

竹材、竹ひご、小刀、紙ヤスリ、キリ、ボンド、新聞紙、工作用土台、
アクリル絵の具、図画用品一式（筆、パレット、筆洗い、スポンジ）、
サインペン、空き缶

団体準備物

軍手、サランラップ、アクリル絵の具（12人程度で1箱が目安
所で注文可：有料）、ポスカ、マジック

実施要領

- ①羽根の削る部分ができるように鉛筆等で線をかく。
- ②線に合わせ、中心部から先端部に向かって小刀を走らせる。
※中心の肉厚の部分をできるだけ小さくし、そこから
急激に薄くなるように削る。
- ③裏も同じように削る。
- ④じくを羽根と垂直になるように接着剤でつける。
- ⑤紙やすりで羽根の角を削り丸みをつける。
- ⑥缶の上に竹とんぼをのせて左右の羽根のバランスを見る。重い方の羽根を紙やすりで磨き、
つり合いがとれるようにする。
- ⑦絵具やマジックで着色し、完成。 ※着色しなくてもよい。塗料は塗った分だけ重くなる。
- ⑧後片付けとそうじをする。

